梅宝丸修行帳

北

梅室高尚家集下

至人の中之乃四季わうとう室　梅室
寸馬のうとうるものの名門　年風
ゝとうるを巻一相伺こあて　ゝ
紙本なからみむしろ柚のも　室
月和とゝ宮と宮とあくあるの室　ゝ
皆俳一のうる永の混敷　風

[illegible]の芸作向[illegible]
[illegible]一回ハ[illegible]
[illegible]かる[illegible]の
[illegible]人[illegible]
[illegible]作[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

風
宗
、
風
宗
、
風

[illegible]筆[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

室
、
風
、
宗
、
風

まこと面白く聊か家の面かくし
波とかけて
風
雨もたちまち
ふるい
塗き
室
作りもの
みちの
ふかい
紀の
風
ふりと
ふりて
仲写
室
十手の
形茶
屋の
自
風
下二

作りもの
ふるも
例式
の
波
室
ふまえ
屋
風
深
ものも
風
物
室
えらい
形
こう
乃
ふれ
杉室

[illegible]
[illegible]
[illegible]

みやこ人も河ゐをしたひ
陸奥ゐなかの山里も
なつかしれぬ行先の
夕和もるもかなる桂木望
ゆくえ村雨山を郭
初夏の空を紅やに白木槿
見初さ家ゐたくまを祝
ゆく中へうきのふいうけ会
宮
み
宮
み
宮
み
宮
み

姫路の多い城主
は細下いくたけの川原
桜かるさえうつけ白
白雲つ考ちを鳴
紅さけ二歌を弱手
やふ入とら御門れとおられて
海いひうちて雷
紅まつこうの紅まも
宮
み
宮
み
宮
み
宮
み

[illegible]れる[illegible]　宗

[illegible]たり　板屋中　〃

はるの[illegible]やら[illegible]たる　外

○

汐[illegible]めるまきの[illegible]　梅室

[illegible]の[illegible]　新翠

[illegible]　〃

[illegible]の[illegible]　宗

[illegible]の[illegible]の清の月　宗

[illegible]　春

[illegible]　宗

[illegible]　宗

[illegible]　室

[illegible]　春

[illegible]　宗

[illegible]　春

[illegible]の御をうけ奉り
[illegible]月の[illegible]大来
小和[illegible]の[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

今[illegible]
[illegible]に[illegible]
[illegible]
神田の[illegible]
[illegible]人
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

ないやうな所の明るい所に　客
もいかなみうち　茅　殆　宅
長崎にうつり住まいして
庶しく筆を物しうる室　客
今考うに世に代うかうも
生活せうして病院の庭　宅
帰をおるきいこつのるなの法
於みあふうきゆ吟の年　客

○
四条新の村をうれて梅の年法
雪とけうるの庭年　梅室
まうあ新年に新めうて　法
新数うへうを梅　室
室うう日のさ　の室　法
新うあうあせう　室
室中い来庭の室かへりもて　法

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちさらかい月を花も雪の雪　宗王
はるの来るこゝろ見えを見る　宗
きくを色の大根もみてみて　〃
又ふ一みてまれとめて雪の雪　宗
〇
年頃の雪の雪に吹れり花の花　梅室
新恒又我すの入こち　黄亭
月こ伽ら新の掃除をあつて　〃

徐の雪に吹つもくせまく　宗
め月も雪の慶なれ雪こゝろこゝ　〃
はるこゝ宮れこゝ猫の雪てゝる　〃
雪ら徐年雪ふるる年程変　宗
こゝろこゝふを家ふふふる　〃
徐ふふ雪ふこゝも花の花　宗
徐一記我をあるる十枕　〃
花れこゝ雪雪の徐徐ふる　宗

かゝるのうらゝ五月雨のうち
ゝ生いたるあきらの門のうるれ雫
ゝ
ゝ
ゝ

松松の色こまさりて秋
小窓うら日を照す自然堂
すゆく秋日ら秋のかすら
かす野のつるとやうらもせる梅花人
る陽うちみ移る日鶴室
一枝ゆくそや花ゆうる枝梅
人梅うらくうるまるむせるう
秋末のもと窓むうらて室
ます

世のうるあるうの面うわうう室
○
陽のうる山のやをうる嵐うう車梅室
出入こうる新の美花仁梅人
和鐘の舟うるくあるかう、
つうて山あうと移又耳る室
こうて陽う和うる末地山
又かまつむうるもたうせう人

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

尾張国[illegible]中四季の梅賞

[illegible]の内かうけ今年

何をもやらうぞ[illegible]

[illegible]けいうてやうてきたし

[illegible]地みうえて梅まるめく

[illegible]ゝ大きうて[illegible]

清もれ[illegible]のまいるなる

きたれ[illegible]

[illegible]と都のなつかしうれ

[illegible]けいらるなる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]情の[illegible]亭[illegible]　[illegible]杖

[illegible]　梅宗

[illegible]　杖

ゆり[illegible]の[illegible]　宗

[illegible]　杖

[illegible]　宗

○

[illegible]　梅宗

門田[illegible]　[illegible]一

[illegible]　宗

[illegible]　一

人[illegible]　宗

[illegible]　一

[illegible]　宗

辻占ふる所年行
一
ぎをめけ聞いつをうる言庵主
宗
ふ所軒先をも梅を葉こ
一
七種のゆつを社家いるこあはさ
宗
黄ふ花ちうふ冥のこちち
一
こ所傳こ言和の香ふ秋の白
宗
こかと落き考も新こしこ
一
雑こみふ行こをこ所ふ矣ホ
一

色うと考この振む芳ホ
宗
言林きれこ人思ふ花のら
一
みてこを考をこうをを
宗
こ和の所も法ら あこ花
一
當場源こ考こ伝ふぬ
一
ふ恋ふこふこ発事茅蓋
宗
こても洞あこ所ふのこ
一
かこを考こ言今ふの法ひ池
宗

[illegible]
[illegible]
みそれを張ふ城の白ゐ　宮
こいろを抱えさつして拵らう　〃
[illegible]も　拵ふ花の場　一
[illegible]
[illegible]の白ゐ　〃
[illegible]て　宮
[illegible]の白ゐ事　〃

[illegible]を入れる場　一
[illegible]
[illegible]の数　宮
[illegible]出て　〃
[illegible]　一

○

[illegible]の本の姿　梅宮
[illegible]　一坪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

所詠の結をふきちらすあらしに
堪てはらはぬ家にはくれの梅
室
梅花
夕風にはなのちるをみおくる
山路とそ
宮
まくらにはれる月を袖にうつす
山の端
宮
高砂の松にたなびくあけぼの
宮
夏来の子ほとゝぎす待ぬ時
梅
宮
又ふるとこれハ袖にわきかねる
宮

梅花
宮
春雪ふるとハ梅をもおもはぬ
梅
宮
山陰の雪にもえぬ梅の花
梅
宮
味ひをやとす蜜をもとめて
梅
宮
鶯入の新年ハ山ゝかけて
梅
宮
こゝろ花の先へ梅の花
梅
宮
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]れるを和歌　宣
八十の数　[illegible]　姫

○

[illegible]の風の[illegible]の雨　梅室
[illegible]も白しかを岸　高
松一本伐れば枝葉の山積て　宣
著[illegible]　高
月の[illegible]の[illegible]　室

[illegible]　高
[illegible]の[illegible]　、
[illegible]の[illegible]　宣
[illegible]　高
[illegible]　宣
[illegible]　高
[illegible]　室
[illegible]　、

ふと仕あてたる新玉の春　富
ゝれふい泊拙新年ら〳〵尼御　宝
義まこさ和ゝめ　物の土産　富
陽ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　室
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　富

○

雪ゝ井ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　梅宝
芝垣いとの笑さゝゝゝゝ　化仙

芝清ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　宝
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　仙
対仙ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　宝
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　仙

○

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　梅宝
みゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　芝一株　芝竜
人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　、

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　宝

○

[illegible]　梅室

[illegible]　樟江

[illegible]　〃

[illegible]　宝

[illegible]　〃

[illegible]　江

白川に殺すらあるかな　宝

かるる　江

[illegible]　宝

きるるかな　江

[illegible]　室

[illegible]　江

[illegible]　室

[illegible]　江

[illegible]　宝

めるる川原　江

[illegible]　江
[illegible]　宮
[illegible]　江
[illegible]　室
[illegible]　江
[illegible]　宮

[illegible]　江
[illegible]　宮
[illegible]　江
[illegible]　宮
[illegible]　江
[illegible]　宮
[illegible]　江
[illegible]　室

出雲うらのうらと申うれ　宗
下総やうの原や野馬新記　化
まうのすゝちいさゝ宮の弓
、
旅のたゝけの草もみなのを　宗
をうけこふ新田神社すゝふ紙ケ　化
うきたうこうるゝ物の下　宗
○
吹れのまゝて枯ゝ残うゝ　梅室

りゝ角たゝわゝおゝる野野　黄年
阿村氏三村ゝおゝゝたゝ
ゝゝの宮角の野たゝを　宗
枝やれい月の一句も俳ゝし
、
作ゝこゝ和ゝもゝかゝ松　年
水雲ゝ庫雲の間も紫野
、
こゝうきゝうゝゝゝ古史　宗
保ゝるゝゝゝきゝ人ゝ行あゝ保　雄

松葉一ふし ゆるして 敷うつ 宝
大橋の 橋てらい 砂ふき 月
家ゝ 松の あるも ある 宝
陰うた 色うあ とて ひも 月
砂を ふる さうめも 世の 気色 宝
見るも まる たてい 世る 月
小路 すく 色ろ 空 なの 月 宝
月の 毋 路ふ 二 仕せ うた 月

ゆるゝ たれ 御 ゝこゆる 宝
山ふ ふゝ 陰も ゆる 世た 月
て 空 まる めて 世も ふも 月
ふ 屏 国 ひ れて 月 た 宝
大 ゐ 式 も 宝 御中 月
ふ 四 月 て ゝい ふら 宝
ふて 地 を え から ふて 年
ゝ た 国 ろと なふ 中 宝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

跋

[illegible]の[illegible]りて[illegible]の
[illegible]ゆうて[illegible]ふ傷
[illegible]ふ[illegible]の
[illegible]やくちむの[illegible]
[illegible]あるい[illegible]
[illegible]おさむ[illegible]あ
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の
[illegible]ふ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天保九年
戌冬發行

書肆

錄

京寺町二条上ル
日本橋通り、西
大坂心斎橋通り 四町南入ル
日本橋北入ル
尾州名古屋本町二丁目
日本橋中ノ町角
江戸浅草茅町二丁目
日本橋通り二丁目
加州金沢上堤丁
日本
日光町

[illegible]屋治兵衛
[illegible]村屋助
[illegible]屋[illegible]助
[illegible]屋[illegible]兵衛
[illegible]屋[illegible]兵衛
[illegible]野屋[illegible]兵衛
[illegible]屋伊八
[illegible]屋伝助
松浦善助
松浦八兵衛

彫刻 川後房